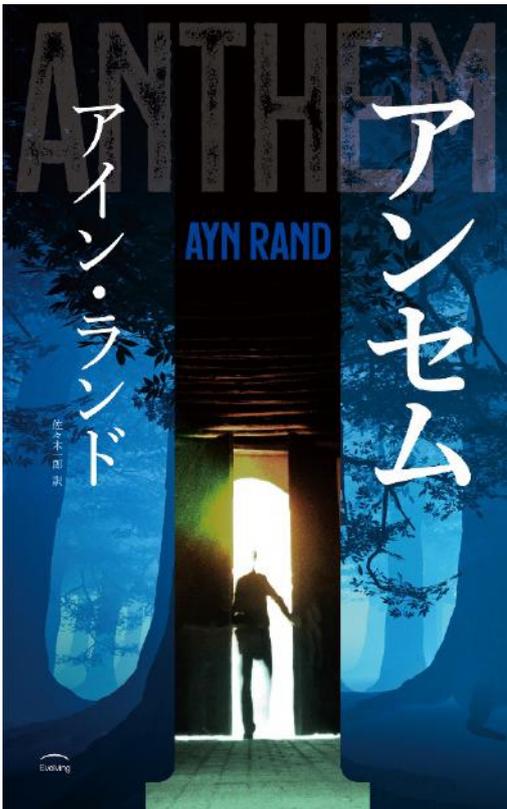


アメリカ社会、とりわけ若い世代に広がりつつあるリバタリアニズム(自由至上主義)に絶大な影響を与え続ける思想家アイン・ランド。著書『肩をすくめるアトラス』は米国議会図書館の調査で「聖書に次いでアメリカ人に最も影響を与えた本」とされた。アイン・ランドが1938年に書いたディストピア短編小説を翻訳出版。

『アンセム』

アイン・ランド 著

佐々木 一郎 訳



あらすじ

集団・平等主義が極限まで推し進められた結果、「私 (I)」という概念が排除され「われら (we)」に置き換わってしまった遠い未来。主人公は自由を取り戻す闘いに立ち上がる。

アイン・ランド

1905年-1982年。アメリカの作家、思想家。

「オブジェクティビズム (客観主義)」思想を創出し、小説やエッセイを通じて表現し、自らそれを実践し続けた。

リバタリアニズムと呼ばれる自由至上主義運動に今も多大な影響を及ぼす思想家として知られる (ただしランド自身はリバタリアニズムを否定、自分の思想と同一視されることを拒否し続けた)。サンクト・ペテルブルク生まれ。1926年アメリカに単身亡命。1936年『われら生きるもの』で小説家デビュー。1943年『水源』がベストセラーになり名声を確立。

1957年SFミステリー思想小説『肩をすくめるアトラス』は現在までに23カ国語に翻訳され、累計販売部数は880万に達する。

ご注文は JRC へ FAX : 03-3294-2177

TEL : 03-5283-2230

貴店番線印	冊数	発行 : Evolving	返品条件付き注文扱い
ご担当 様		アンセム アイン・ランド著 佐々木一郎訳 予定価格 : 1500円 + (税) 並製本 B6判・154頁 ISBN 978-4908148187 C0097 Evolving お問い合わせ : Tel: 090-2739-6106 e-mail: evolving.itoga@gmail.com	